



地域外からの人の呼び込みの推進

平地農業地域



キーワード

農村の地域コミュニティの維持・強化へ

農村環境の保全・向上

生態系保全、環境保全
型農業に関する取組

地域外からの人の呼び込み

こたがわちいきのうそんしげんかんきょうほぜんすいしんいんかい にらさきし
小田川地域農村資源・環境保全推進委員会（山梨県韮崎市）

- 小田川地域農村資源・環境保全推進委員会は、平成19年度より本交付金による取組を開始し、農道・水路の保安全管理に地域をあげて取り組んでいる。
- 子供達にホタルを見せたい」といった思いから地元の有志が昭和61年に「小田川ホタル愛護会」を組織しホタルの生息環境の保全を図っている。
- 本地域は県内有数のホタルの里とわれる昔ながらの農村風景が残り、その自然の保全とあわせて小田川ホタル祭りの開催や都内企業の農業研修誘致に取り組み、FacebookやYouTubeを活用して積極的に情報を発信している。
- この活動により、ホタル祭りには多くの来訪者があり、地域の世代間交流だけでなく、地域住民と都市住民との交流が促進された。

【地区概要】※R4年度時点

- ・取組面積 17.5ha（田17.5ha）
- ・資源量 水路4.0km
農道2.0km
- ・主な構成員 自治会、土地改良区、
小田川ホタル愛護会 等
- ・交付金 約1.4百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

○本地域は水の豊かな水田地帯であり、かつては多くのホタルが見られたが、水路のコンクリート化等により激減してしまった。

○また、高齢化が進み地域内の遊休農地が増加し、担い手不足に悩まされていた。



ホタルが乱舞する様子

取組内容



○ 水路に簡易な堰や障害物を設置することにより流速を調整するなど、ホタルの生息環境を保全している。



○ 自治会と連携しホタルの観察会やホタル祭りを開催している。



○都市農村交流の促進やFacebookやYouTubeにより情報を発信している。



ホタル祭り開催状況

取組の効果

- ホタルの継続的な繁殖に成功し、毎年多くのホタルがみられるようになった
- また、ホタル祭りには地域外から約2,000人が訪れ、都市農村交流が促進された。
- 都内企業の研修を誘致することで、21人が田植えや稲刈りの農業体験ができた。



企業研修(農作業体験)



【地区概要】※令和4年度時点

- ・取組面積 28.56ha
(田23.31ha、畑5.25ha)
- ・資源量 水路7.2km
農道5.5km
- ・主な構成員 農業者、自治会、PTA、消防団、土地改良区、JA組合会 等
- ・交付金 約2.1百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

たけだみずとかんきょうをまもるかい さくし 竹田水と環境を守る会 (長野県佐久市)

- 竹田水と環境を守る会は、用排水路等の維持管理が手薄となったことにより、平成19年より農地・水保全管理支払交付金による取り組みを実施。
- 本地域の特徴として、圃場整備の済んだ水田が農業の根幹をなしているが、山間地にある畑地でも取り組んでいる。
- この活動により、区民の共同活動の機会が増加し結束が深まり水路の維持管理し易くなってきている。
- 研修により補修技術や知識が向上したため、水路の目地補修等を実施し水路の機能が増進している。

活動開始前の状況や課題

- 本地域は昭和40年代に圃場整備事業で造成され、以後50年以上が経過するなか、用排水路等の損傷が顕著となり、維持管理に大変苦慮していた。
- 更に、農家の減少や高齢化等により維持管理が困難となり、目地補修や土水路の整備が進んでいない状況であった。



土水路の状況

取組内容

- 資源向上支払(長寿命化)の取組みにより、土水路をベンチフリューム水路に更新。



水路の設置状況

取組の効果

- 従前は土砂の堆積しやすい箇所、年1回発生していた溢水が起きなくなった。
- また、水路の機能が増進し、安定した用水の確保が図られたとともに、土砂上げ等の維持管理労力が大幅に改善され



施工後の状況

きたふくちのかんきょうをよくするかい

いなし

北福地の環境をよくする会（長野県伊那市）

- 本地域は、市内中央を流れる、天竜川東側に見える標高1,331mの高鳥谷山(たかずやさん)のふもとに位置する、戸数約280戸(人口およそ980人)ほどの、里山と田園風景が広がる小さな地区である。
- 20年ほど前から富県グリーンツーリズムを組織し、老朽化、機能低下が著しい水路や堤(ため池)の改修とともに資源保全に努めてきたが、農業従事者の高齢化や混住化が進み、保安全管理が困難となってきたため、これらの資源を「地域共通の財産」として、地域住民ぐるみで守ることを目的に、現在まで活動している。
- 子供達には身近な水環境の大切さを知ってもらう様に、ホタルの観測会を企画し約15年間継続実施しています。



福地の里花の庄

【地区概要】※R4年度時点

- ・取組面積 約114ha (田114ha)
- ・対象施設 開水路 46.0km
農道 6.8km
ため池 6箇所
- ・主な構成員: 農業者、常会、水利組合、青少年育成会など
- ・交付金 約7.3百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- これまでも、平成15年に「富県グリーンツーリズム」を組織し、環境保全と地域活性化を目的とした活動を行ってきた。
- また、古くから使われている堤(ため池)や水路の手入れは自分達の手で行うことが当たり前とされ、集落ごとにそれらの手入れをしてきた。
- しかし、著しく高齢化が進み、それらの保安全管理すらも難しくなっており、さらに、活動を調整する役員のなり手不足も、悩ましい問題である。



水源確保・水路整備(昔から続く作業)

取組内容

○令和4年度実績(抜粋)

- ・水路泥上げ・井浚い(19件)
- ・水路等の草刈り(19件)
- ・農道周辺整備(15件)
作業時間・延べ1,627時間
作業従事者・1,186人(人口の121%)
- ・ホタル観測会(1週間 参加者子供39人)



○令和3年度実績

- ・水路泥上げ・井浚い(15件)
- ・水路等の草刈り(14件)
- ・農道周辺整備(10件)



高齢者も子供も参加できる景観形成活動



取組の効果

- 後継者のいない高齢農業従事者の遊休農地の荒廃化を防ぎ、放置され草に覆われた河川や田畑の法面・畦畔等の減少を図ることができた。
- 交付金を元に、水路の改修を概ね直営施工で計画的に行うことで、水害による被害を抑えるとともに、稲作をはじめとする作物耕作が安心して実施できている。
- 長寿命化5か年計画(抜粋)
 - ・工事計画水路全距離 1244m
 - ・R1・R2工事実績 502m (達成率40.3%)
 - ・R3工事実績 265m (達成率61.6%)
 - ・R4工事実績 191m (達成率77.0%)



長寿命化工事(直営)を終えて竣工検査(R4)



農村環境保全の推進

中間農業地域



キーワード

農村の地域コミュニティの維持・強化へ
の貢献

かみくろだうわだんちいきかつどうそしき

いいだし

上黒田上段地域活動組織（長野県飯田市）

- 本組織は、野底山麓の段丘上に広がる集落の農地保全や農業施設の維持管理に取り組んでいる。
- かつては集落農業関連の活動団体が多数あったが、各団体の活動がバラバラであった。
- 平成27年度より本交付金による取組を実施し、各団体がまとまって活動することができるようになった。
- この活動により、農道や各水路の維持管理が行われ、長寿命化につながっている。
- 有害鳥獣対策を地域ぐるみで行うことにより、農作物被害の削減につながっている。

【地区概要】

- ・取組面積 57ha
(田15ha、畑42ha)
- ・資源量 水路11.1km
農道0.8km
- ・主な構成員 まちづくり委員会、
農道組合、有害鳥獣対策組合、水
源施設組合、JA運営委員、等
- ・交付金 約2.0百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 傾斜地が多いため、のり面の草刈りや水路の土手草刈りなどの作業効率が悪かった。
- 有害鳥獣対策は近隣農家だけでは困難だった。
- 農家の減少や高齢化等により耕作を続けられない農地が増え始めた。



対策フェンスの設置場所(赤線部分)

取組内容

- 棚田地域景観形成活動として、集落で道路沿いの花壇に花を植えた。
- 平成31年3月に約1kmの有害鳥獣対策のフェンスを設置し維持管理を共同で行った。
- 耕作を続けることができない農地の耕作支援のために芋や大根を協力して作付けし、園児80名とともに大根抜き作業を行った。



対策フェンス

取組の効果

- 共同作業で草刈り等を行うことにより、各農家の負担が少なくなった。
- また、荒れていた道路周辺の土地が花壇になり、遊休農地化を防ぐとともに集落内の交流が盛んになった。
- 有害鳥獣対策フェンス周りの草刈りや見回りの近隣農家の負担が少なくなった。
- 農作業を園児と高齢者が行うことにより、多世代交流を行うことができた。これにより地域農業に関心を持つ若い人たちに期待できる。



園児の農業体験

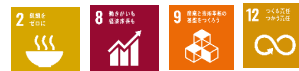


ひまわり畑



担い手の負担軽減による構造改革の後押しを推進

中間農業地域



キーワード

構造改革の後押し等
地域農業への貢献

こいずみみどりかい

うえだし

小泉水土里会（長野県上田市）

- 本地域は、約3割（約30ha）の農地が担い手により営農され、農業者の減少、高齢化等により、ため池や水路等の維持管理が粗放化していた。また、作業の効率化や規模拡大を図る上で、地区に点在する担い手の借入農地を、面的に集約を図ることが課題となっていた。
- 農地の集約化、担い手に対する水路等の維持管理負担の軽減方法を検討し、担い手の負担軽減のため、地元有志（草刈り支援隊）が、担い手の農地周りの草刈り等を年3回実施することとした。
- これにより、担い手の水路等の維持管理に係る作業時間が年間約33hr/ha軽減。これにより余剰労働を米の品質管理や他集落での耕作に活用している。

【地区概要】※R4年度時点

- ・取組面積 90.81ha
（田87.29ha、畑3.52ha）
- ・資源量
開水路39.1km、農道22.8km、
ため池5箇所
- ・主な構成員 農業者、自治会、JA、
水利組合、草刈支援隊、PTA等
- ・交付金 約7.3百万円（R4）

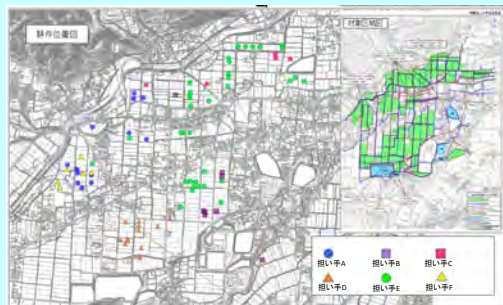
農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

- 地域の約3割（約30ha）の農地が他集落の4名を含む計6名の担い手により営農。
- 農業者の減少、高齢化等により、ため池や水路等の維持管理が粗放化。
- 作業の効率化や規模拡大を図る上で、地区に点在する担い手の借入農地を、面的に集約を図ることが課題。



担い手による耕作地の位置図

取組内容



- 地域農業の持続的な発展のため、担い手の経営規模拡大に協力することで合意。
- 担い手の負担軽減のため、草刈支援隊を結成。担い手の農地周りの草刈り等を年3回実施。
- 水路・農道等の草刈り・泥上げ等の共同活動は、担い手を除く構成員で実施。



活動組織と担い手との検討会

取組の効果

○担い手の負担軽減

- ・担い手の維持管理負担の軽減
労働時間：33時間/ha/年
維持管理コスト：4.5万円/ha/年
- ・担い手は、負担軽減により生まれた時間を米の品質管理や他集落での耕作に活用。

○地域農業の展望

平成28年度からの中間管理機構を活用し、担い手へ集積を促進。生産性の向上、地域農業の持続的な発展を図る。



草刈支援隊による、担い手の農地周りの草刈

ちゅうしんだいらさがんのかい

まつもとし・あづみのし

中信平左岸の会（長野県松本市・安曇野市）

- 本地域は、国営かんがい排水事業中信平及び県営畑地帯総合土地改良事業等により整備された、梓川左岸の扇状地に広がる地域で、県下有数のリンゴ生産地帯である。
- 樹体を小型にした“わい化栽培”は、スプリンクラーによる散水を可能とし、品種改良や施設整備を通じた効率的かつ高品質な作物栽培により、過去には「日本農業賞」「天皇賞」を受賞。
- 近年、畑かん施設の老朽化に伴う機能低下により、給散水施設が破管・破損し維持管理費が増加していたが、本活動で施設更新に係る負担軽減が図られている。

【地区概要】

- ・取組面積1,057ha
（田18ha、畑1039ha）
- ・資源量 水路 124km
- ・主な構成員 農業者、
土地改良区等
- ・交付金 約 36百万円（R4）

農地維持
支払

資源向上
支払
（共同）

資源向上
支払
（長寿命化）

活動開始前の状況や課題

これまでは……

- 老朽化したパイプライン本管の破損は土地改良区が対応。



漏水したパイプライン

- 給散水施設（スプリンクラー等）の交換は個人負担のため維持修繕費の増加により、農家所得に影響。



スプリンクラー

取組内容

- これまでに本交付金により、給散水施設の更新（H27～R4、約24,600箇所）を直営施工で実施。



- 取組面積が1,000haを超える県下最大級の組織であり、主に、給散水施設の更新・電磁弁等の施設補修、水路改修に取り組んでいる。



スプリンクラーの修繕

取組の効果

- スプリンクラーヘッドの交換



交換したスプリンクラー

発注区分	概算費用 （円/箇所）
外部発注	約11,000
直営施工	約4,500

- 本活動によって散水施設の機能増進が図られ、より高品質なリンゴ生産が可能になった。
- 県独自の取組として本交付金で更新が可能となった。
- 交換費を約6割削減することができ、維持管理費負担が軽減され、農家所得の向上に大いに寄与している。



広域化に伴う事務の効率化と地区間の協力体制の強化

平地・中間・山間農業地域



キーワード
・活用
・組織の広域化
・体制強化

上田市多面的機能広域協定（通称：上田水土里会）（長野県上田市）

- 上田市では、平成26年度には市内において36組織で活動していたが、各組織の指導監督や新規地区への普及、組織の設立支援など市役所の負担が多大となっていた。
- そのような中、活動組織間の交付金の過不足による格差や、役員の負担が重いことにより人材の確保が難しくなる活動組織が出てくるなどの諸問題も発生していた。
- これらの解決のため、平成28年から広域化を進め、平成30年度には新たな組織も加わり市内47組織のうち36組織が参加する広域組織が設立された。
- 機械や人材のリストを作成し、機械の共有化や地区間の技術協力を推進している。

【地区の概要】※R4年度時点

- ・取組面積：3,134ha
(田1,902ha、畑779ha、草地453ha)
- ・資源量：開水路 809.7km
農道 243.9km
- ・構成員：自治会、土地改良区等
- ・交付金：約176百万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- ほとんどが集落単位の活動組織で、各組織毎の交付金の活用状況に大きな差が見られ、組織毎の交付金の過不足が顕著に見られた。
- また、組織数が多く、活動組織への指導・監督等する市の負担が多大だった。
- 活動組織の事務負担を懸念して組織設立を躊躇する組織があった。



取組内容



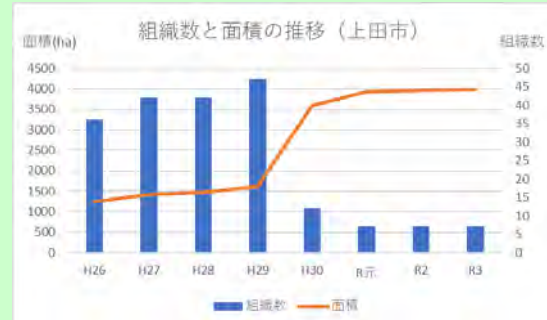
- 既存の組織に丁寧に広域化のメリット・デメリットを説明し、協定への参加・不参加については各組織の判断に任せた。
- 広域化後も各組織へのフォローアップとして、事務局が各組織向けの休日相談会を実施したり、全組織へのヒアリングを実施するなど、事務局と活動組織の意思疎通の円滑化に努めている。
- 機械や人材の共有化のためのリストを作成している。



運営委員会

活動の効果と今後の展開

- 広域化を実施した結果、取組面積が2.2倍に増加 1,613ha(H29)→3,598ha(H30)



- 目地詰め講習会を実施し、技術の普及に努めている。また、地域の高齢化に備えて、各地区の草刈り機などの機械リストや技術者リストを作成し、機械の共有化や埋もれた技術力の発掘・地区間の技術協力を推進している。



目地詰め講習会



SDGsへの貢献について

平地農業地域



キーワード

SDGsへの貢献PR

うやまはってんかい たてしなまちうやまちく
宇山810会（長野県立科町宇山地区）

- 組織は5集落で構成される宇山地区として、平成19年度から「宇山地区資源保全協議会」として活動を開始し、『地域資源保全管理構想』の検討委員会で審議し、『組織の合理化と運営の軽減』・『活躍分野にジェンダーを軸にした女性の活動分野の構築』が掲げた。
- 女性役員を多く迎え入れ、組織も各集落から選出された役員、広報啓発委員、女性活動委員の各々5名と事務局を含めて総勢20名が宇山810会の先導役として、新たな体制の下活動中。
- また、女性や子供が活躍できる企画を実施することにより、多くの女性や子供が参加するようになった。

【地区概要】※R4年度時点

- ・認定農用地面積47.90ha
(田37.49ha、畑10.41ha)
- ・資源量 水路17km 農道21km
ため池5箇所
- ・主な構成員 農業者、非農業者
自治会、消防団 土地改良区等
- ・交付金 約300万円(R4)

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の 状況や課題

- 元々は地区の非農家、女性、子供は活動に参加せず、更に活動があることすら知らない方がほとんどであった。
- 宇山810会の活動が、SDGs繋がっていることを、農家・非農家・若年層女性に知ってもらい、女性や子供にも宇山810の活動に参画してもらいたいという思いから、活動を実施している。

取組内容

- 宇山810会の活動がSDGsと紐づくことを広報誌で紹介。幅広い年齢層に読んでもらえるよう、図や絵を用いて説明した。



- SDGsに関する活動として女性や子供が参加、活躍しやすい企画を立てた。

- 例)・花壇整備
・公園整備
・ゴミ拾い活動
・田んぼいきもの観察会等々

取組の効果

- 宇山地区158世帯に配布し関係する行政機関等にも送付している広報誌でSDGsの取組を紹介。広報誌の発行を通じて宇山地区の農業や生活環境自然景観の維持、活動参加の推進、地域コミュニティの形成に繋がっている。(広報啓発委員は、6名(各集落1名=5名、参与1名))
- SDGsに関する活動として女性や子供が活躍できる企画を立案。農村景観の向上の効果が見受けられる。
 - ・花壇・公園の整備景観形成活動(延べ70名が参加)
 - ・アレチウリの駆除やギャザリング講習会等
 - ・田んぼいきもの観察会では、子供たちが地域にしか生息しない希少な生き物を観察し、水質保全・農地保全の大切さ、宇山地区の素晴らしさを学んだ。



植栽活動



いきもの観察会



かみくらさわせんがまちほぞんかい
上倉沢千框保存会

きくかわし
(静岡県菊川市)

- 本地域は菊川市の北部、牧之原台地の西斜面に位置し、上倉沢千框保存会は平成19年に設立され、令和4年に「つなぐ棚田遺産」に認定された千框棚田では、農家とNPO法人が中心となって、保全活動に取り組んでいる。
- 保全活動には複数の企業が参画するとともに、小学校等と連携した農業体験や大学の研究室と提携し、研究フィールドとして棚田を開放している。
- 春には、地域住民と共同であぜ道アートを開催するなど地域の活性化に寄与している。

【地区の概要】※R4年度時点

- ・取組面積 39.3ha
(田3.1ha、畑36.2ha)
- ・資源量 水路1.5km
農道5.7km
- ・主な構成員 農業者、NPO法人等
- ・交付金 約1.9百万円

農地維持
支払

資源向上
支払
(共同)

資源向上
支払
(長寿命化)

活動開始前の状況や課題

- 田んぼが階段状に連なり、面積10.1ha、最盛期にはその数3,000枚以上、毎年5百俵余の米が生産されていた。
- 後継者不足、生産効率の悪さなどの悪条件が重なり、9割近くが葦原と化していた。
- そこで、“子供のころ遊んだ美しい棚田をもう一度甦らせたい、子供たちに棚田の風景を見せたい”という思いから活動を開始。



1965年頃の棚田の風景

取組内容

- 県の行う「一社一村しずおか運動」により、県内の多くの企業と、保全活動への参加や新入社員研修の実施など様々な形で連携している。
- 「棚田オーナー事業」を実施し、都市住民に体験型農業を提供するとともに、地域の小学校等と連携し、農業体験や生き物教室を実施している。



企業の協力による復田



企業の新人研修



棚田オーナー事業

取組の効果

- 耕作放棄地化してしまった水田の復活、一部を畑としてソバや菜の花を栽培し再利用に取り組んでいる。
- 静岡大学、東京農業大学や多くの棚田オーナーの皆さん、多くの企業の方の協力により棚田が保全されている。
- 地域住民と共同で開催する「あぜ道アート」には多くの方が見学に訪れ地域の活性化につながっている。



現在の棚田



あぜ道アート



農村と企業等のマッチング支援

しずおか

静岡県

- 静岡県は、農業者の高齢化・減少等に伴う集落機能の低下と担い手の不足等から農地や農業用水等の資源の保全管理が困難になっている状況や農村の自然環境や景観の保全・形成等の農業の持つ多面的機能の発揮への県民の要請を踏まえ、多面的機能支払交付金を積極的に推進している。
- 人口減少や高齢化が加速的に進む農村では、農村の活性化に関わる多様な外部人材などの関係人口を拡大していくことが重要となっている。農村の活性化や新たなビジネスを創造するスキルやアイデアを有する企業、大学等の情報と農村の要望や課題を共有する場となるプラットフォームを新たに創設した。

活動開始前の状況や課題

- 人口減少や高齢化が加速的に進む農村特に中山間地域では、農地や農業用水路等の地域資源の保全・活用を担う集落機能の低下が危惧されている。
- 農村の需要と企業・大学等の要望の情報を共有する場がない。



水路の泥上げ

水路の草刈り

取組内容



- 企業、大学等の情報と農村の要望や課題を共有する場となるマッチング支援サイト「むらマッチ」を公開した。
- サイトでは、「魅力的な地域資源と合わせて課題を持つ農村」「得意分野・アイデア・ノウハウを持つ企業等」「協働の事例」



を探すことができる。
また、『気になる農村、企業等』や、『こんな取り組みが自分たちにも出来ないかな?』を見つけて農村と企業のマッチングが可能となる。

取組の効果

- 企業が地元の取り組みに共感し、地域密着企業としてコミュニティの活性化に寄与すべく、地区の景観整備活動(草刈り)に社長を含め社員14名が参加。
- 令和5年度において上記取組を含め、7件のマッチングが行われた。(R6.1時点)



企業と連携した草刈り

区分	令和6年度希望数	主な内容(期待すること)
多面組織	25組織(見込み)	農地の保全活動の人手
企業等	50社(見込み)	農作業支援、景観保全、草刈り

【静岡県の概要】

- ・取組面積 14,409ha
(田6,521ha、畑7,881ha、草地6ha)
- ・農用地面積に対するカバー率 25.9%
- ・活動組織数 232組織
(うち広域組織14組織)
- ・資源量 水路3,960km 農道2,269km
ため池227箇所

キーワード

地域外からの人の呼び込み

若者女性などの多様な参画